

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

2月9日から開催される韓国・平昌オリンピックでの日本選手の活躍を期待して盛り上がりつつある。また白馬村では15季ぶりとなるワールドカップ開催。

実施種目は、ノルディクススキー複合の個人戦2戦。2月3日・4日はオリンピック当時は再び体感する絶好の機会、会場から多くの声援を送りたい。

喪中の挨拶で、長野オリンピック当時、白馬会場と関わりの深い広告代理店(株)アサツー・ディ・ケイ元代表取締役社長の多氣田力さんの悲報を知った。長野冬季オリンピック以前のゴールドスポンサーに関する広告業務は(株)電通が独占している状態の中、白馬会場で課題だった悪天候時の対応や、訪れる外国関係者と地元民との交流、準備作業

に当たる多くのスタッフとの交流会場として設置された八方入口の大型テントのスノードーム。この経費を確保していただいた方だ。

初めてお会いしたの

務に当たっていた私に「是非会いたい」との連絡、大会関係者しかエリアに入れないと説明しても、「是非」と譲らず入場ゲート前で待ち合わせた。革靴で雪道を小走りに近寄る

を持参、「草を持ち込んでもらっては」の秘書の発言に、多氣田さんのきつい一言で全員が和む。白馬担当社員も「初めて社長室に入った」との貴重な体験から、日本の経済の

には「できることは積極的に白馬を支える」と言い続けていた。また日本ハム球団(株)の札幌移転準備に、準備室相談役として生き活きと輝いていた。スポーツの活性化に知恵を求め、食事中

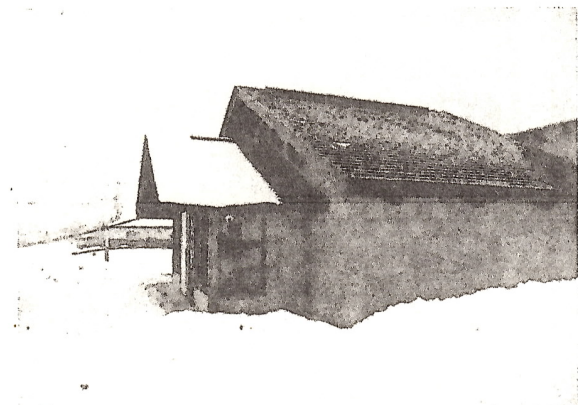
でも気になったことは、割り箸袋の裏に書き留める姿は忘れられることはないだろう。ご冥福を心から申し上げます。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

オリンピック開催の財産は、 人なのだと長く語り続けてほしい

は、長野市内の会議室。「日本のスポーツ発展からも、マーケティングに参入したい」オリンピックに対する熱い想いをうかがった。オリンピック開催時には、出張先の長野市から、ジャンプ会場で業

姿は今も鮮明に心に残る。そして帰りに夢を叶えたので、これからは白馬のお役に立ちたい」と話された。後日私は、本社社長室にうかがうことができた。笑い話だが、手土産に山菜(ウトブキ)

中枢にいる人材とも、一緒に仕事ができたのだとオリンピックの財産の偉大さを痛感した時でもあった。その後、コナミ(株)の取締役社長補佐として、白馬の観光を支援していただいた。社員



スノードームのおしゃれなトイレ施設は、外国からの訪問者に観光白馬を強く印象付けると多氣田さんのアドバイスからの財産だ